

2015 農園芸の福祉力講演会(3月6日) 実施報告

園芸科学科園芸セラピー部門の柱、研修講座最終日も無事終了したので次のとおり報告する。

2016.3.7 三宅道治



学びの概要

園芸療法プログラム

- ・作業療法では、人・対象者に適した作業、その人らしい作業を如何に提供するか。
- ・実施後の評価法は簡易なものとして、色彩評価法、フェイススケール8段階も活用した結果、園芸活動は良好な結果となっている。
- ・“植物の栽培が好きでないと出来ない”福祉医療現場での園芸療法の実態。
- ・作業療法士養成プログラムに栽培技術の習得が入り込む余地が極めて小さ

い実態から、園芸療法士の養成の必要性を実感。

- ・質疑の中にもあったが、園芸関係者の栽培ノウハウは福祉・医療現場で求められている。

掃除、会場設営、会場撤去も学びの場

3月4日からの1年生による会場準備、2年生のプロジェクト発表の発表練習、司会進行練習に取り組んだ。6日当時の午前中も会場の大掃除、資料綴じ等を行った。都合上、全員ではありませんが、会場設営の方法、PC・プロジェクター設置法、マイクの使い方、掃除の方法を含めて学ぶ場にした。

生徒による運営・準備

司会進行(2年生2名)、開会あいさつ(2年生1名)、閉会あいさつ(1年生2名)、あいさつ隊兼駐車場(1年4名)、受付(2年2名)、販売係・おもてなし係(1年4名)、場内誘導(2年1名)、照明(2年1名)、大掃除・会場準備撤去(全員で)、花壇の花がら摘み(1年全員)

文書作成能力、まとめる力の育成

終業式までに、講演会のレポートを提出することになっている。なお、当日、3名の2年生がレポートを提出して帰宅した。

1. 実施期日、並びに会場

平成28年3月6日(日)曇り 本校・創立百周年記念館

2. 実施内容

(1) 生徒によるスクールプロジェクト発表 『対人サービス部門の工夫改善プロジェクト』

2年井手・大岡・實平(化学合成農薬不使用栽培プロジェクトチーム)

昨年11月産業教育フェアにおける他校のプロジェクト発表のビデオを入手し、発表者3名司会者2名で拝見し発表の参考にした。本校生徒たちも、あいさつももしっかりしており、しかも聞き取りやすい発表であった。



写真2 あいさつ



写真3 プロジェクト発表



写真4 プロジェクト発表

(2) テーマ:園芸療法プログラム

事例発表

『笑顔がもたらす園芸活動：生きる力の回復へ』五感を刺激し、心が開かれ、体が動いた
社会福祉法人順正福祉会
特別養護老人ホームグリーンヒル順正 ケアワーカー長 磯村 葉子 氏

講演『吉備国際大学園芸療法プロジェクト』

吉備国際大学 作業療法学科 作業療法士 三宅 優紀 氏



写真5 事例発表 (グリーンヒル順正)



写真6 講演 (園芸療法)

3. 農場生産物販売 (試飲付き)

すっきりするっ茶、ブレンドハーブティーかおるん葉

4. 研修会の認知方法 (欠席者含む)

園芸セラピーからのメール・案内状7名、老人福祉施設協会Web2名、研修会で案内2名
口頭で案内4名

5. 一般参加者13名の構成比

職業等

福祉施設関係者7名、園芸ボランティア3名、高齢者福祉関係卒業生1名、
その他2名

男女比 女性12名 男性2名

お住まい 県内12名 鳥取県1名

6. 園芸セラピー専攻生の参加

2年生8名、1年生8名

一般受講者の感想 (一部)

- ・高校生の発表は、自分たちの活動が良く分かる発表であり、しかも聴き取りやすい発表であった。
- ・ていねいなあいさつで良かった。しかし、あいさつの時は、マスクをしない方が良かった。
- ・高農ではさまざまな活動をされていて、高校生の力にビックリしました。
- ・ハッカ風味の紅茶、美味しかった。ありがとうございました。
- ・写真パネルでハーブ商品化の流れが分かるようにしていたが、工夫改善の様子、生徒の皆様の努力する姿が良く分かった。
- ・きょうの講演会は、私の職場では出来ない諦めず、何かできることはないかと考える機会になった。
- ・講師の方のお話しは分かりやすかった。一年を通じて植物を身近に感じられる取り組みは凄い。
- ・園芸活動で元気になる人が多いとのこと良く分かったので、これからも園芸のことを大事にしていきたい。特に食べることで笑顔・元気になることに繋がることが良く理解できた。
- ・遅刻してしまい生徒さんの発表を聞けず残念。これから園芸療法士がどんどん増え、活動の場が増えることを願っている。
- ・講演や事例発表で、園芸活動を深めるヒントや関わり方が学べた。
- ・先生が最後に言われた“せめて外の空気だけでも吸わせて”という言葉に園芸に対する熱意を感じた。思いを胸に仕事をしたい。

本校生徒の感想（一部）

- ・知らなかった事がたくさん知れて良かった。介護をサービス業と捉えている人の話を聴けて良かった。
- ・園芸療法がこんなに凄いものとは知らなかった。五感とかに影響を与えて凄いと思った。
- ・井手先輩の発表は聴きやすかった。またハーブティーを作るのに多くの人と時間がかかっていることが理解できた。
- ・老人ホームで干し柿作りや鍋会をしていることが印象的だった。利用者さんの笑顔が見られるようにいろいろな工夫をされていることが理解でき、勉強になった。
- ・片手の使えない方、車イスの方にも適した園芸作業を提供され、楽しめている点が印象的であった。
- ・参加して良かった。お年寄りの方が園芸作業によって、笑顔になっている写真を見ると、私も微笑ましく思えた。磯村様の事例発表の演題どおりであった。
- ・花緑に触れる関わることで、たくさんの方が笑顔になれることを改めて実感できとてもうれしかった。
- ・知らなかったことを一般教えていただいて、良かった。
- ・事例発表で、どうしたらやれるか考え、自分たちでレイズドベッドなどを工夫したりしているのが凄かった。
- ・園芸作業後、利用者さんが見える位置にプリンター等を配置していたので、活動が途切れることなく、意識の中でも続くことが理解できた。
- ・私は将来福祉関係に進みたいと思っており、園芸療法に興味があり、吉備国際大学、グリーンヒル順正にも興味を持ち、行ってみたいと思った。
- ・先輩の発表を聴いて、ハーブの商品化、すっきりするっ茶のできるまでが理解できた。先輩たちはいろいろな苦労をしながら作ったことが分かったので、お茶を大切に扱いたいと思った。
- ・皆さん真剣に聴いてくださり、とてもやり甲斐があつて良かった。テスト期間等も使い発表練習を頑張った甲斐があつた。
- ・磯村様の語り口は魅力的で、話にのめり込んで行くことができた。もっと他にやることはないかと検討する必要があるし、受講者の方々が気持ち良く受講できる環境を作っていきたい。

その他の写真記録



写真7 質疑



写真8 質疑



写真9 メモを取りながら



写真10 拭き掃除



写真11 掃き掃除



写真12 拭き掃除